体験・交流型の修学旅行を提案

奈良県・飛鳥地域

Roots of Japan!
主体的、対話的に深い学び合いを
飛鳥で民家ステイ

日本はじまりの地・飛鳥。この地で民家ステイの受け入れが始まって7年目となりました。特有の風土の中で歴史学習を深めつつ、同時に、その空間で民家ステイを体験いただけるのが地域の特徴です。現代の子どもたちにとって不足しているとされている、直接的な体験と対人関係構築の機会。ここ飛鳥での体験を通して、少しでもそれらを解消できるよう、私たちはその一端を担いたいと考えています。

飛鳥民家ステイで生徒が得る三つの学び

①歴史・文化

「私は飛鳥の歴史を伝えたい」。ある受け入れの家庭は話します。歴史の舞台となった場所に自ら立ち、史跡を間近に見て、その地に暮らす人々の話を聞いてみましょう。歴史上の出来事を肌で感じ、日本人のルーツを学んでください。

②景観保全

飛鳥を訪れる多くの方が「どこか懐かしい」と感じます。瓦屋根や建物の高さに対する厳しい規制の中、点在する史跡と調和する古き良き里山風景は、地域の人々の力で大切に守られ現存している全域が歴史的風土特別保存地区に指定）は、食生産現場を理解し、採りたてならではの本物を味わう機会となるだけでなく、食わず嫌いだった自分に気づくチャンスになるかもしれません。孤食が多い今どきの子どもたちにとって、大勢で食卓を囲むことは、コミュニケーションや躾の場にもなります。

③コミュニケーション

生徒たちは初めて出会った受け入れ家庭の皆さんの「家族」として過ごします。緊張したり気を使っていたりした生徒も、ありのまま「家族」として触れ合っていく中で交流を深め、貴重な人間関係を築きます。

家族との「食事づくり」で交流を深め、貴重な人間関係を築きます。

海外の学生も受け入れている

日本棚田100選に選ばれている「稲渕の棚田」

民家ステイが始まり地域がどう変化したか

①地域の魅力を再確認

明日香法・古都保存法による開発規制によって守られた「原風景」こそが飛鳥の魅力です。民家ステイではこの原風景が資源として生かされています。

②地域の活性化

厳しい開発規制の影響で若い世代が村から離れることもある中、民家ステイに来られるたくさんの生徒が地域を活気づけています。

③人々に活気が！

民家ステイを受け入れることで、住民に「やりがい」を与えています。生き生きとした親の姿を見て、子ども夫婦がUターンするなどの効果も期待できます。

感動のお別れ

受け入れ家庭のガイドによる史跡巡り

■安心・安全

受け入れ家庭宅が本部（先生の宿泊施設）から車でほぼ20分圏内に分布、提携病院の立地を含めエリアがコンパクトで、緊急時は速やかな対応が可能です。生徒の皆さまのアレルギーや配慮すべき点について事前把握を徹底し、滞在中のトラブルを未然に防ぐよう努めています。年6回の民家ステイセミナーや勉強会を実施し、民家ステイの質の向上、協議会の理念の確認や受け入れ家庭との意識の統一を図っています。

■アクセス

関西国際空港や新大阪駅からは車で1時間半、京都駅からは電車で1時間圏内。近畿の各名所のアクセスにも便利な立地です。

飛鳥ニューツーリズム協議会
〒634-0112　奈良県高市郡明日香村島庄5番地（明日香村商工会館内）
TEL 0744-54-1525　FAX 0744-54-1526
E-mail:info@asukacom.jp
URL http://www.asukacom.jp

滋賀県・近江日野

農山村で課題解決型の修学旅行を
三方よし！近江日野田舎体験
歴史文化学習と農泊を通じた交流の両立

私たちの日野町は〝売り手よし　買い手よし　世間よし〟の「三方よし」の精神で、常に社会貢献の心を忘れず、商いに精進した近江日野商人発祥の地です。近江商人の三方よしの教えにならった生徒個々の生きる力を育む近江日野田舎体験と、京都・奈良だけでなく、かつて「近江を制する者は天下を制す」と言われた近江の国　滋賀県での歴史文化学習との両立プランはいかがでしょうか。

近江日野の農村生活体験（農泊）は、先生の本部宿からわずか15分圏内に150軒の受け入れ家庭を有し、収容人数は最大600人になります。1軒4人を基本に分宿し、その時期にある作業やものづくりなどをそれぞれの家庭で体験します。日野町へはバスで京都や奈良、名古屋から約1時間半、名神高速、新名神高速主要インターから約30分と、関西圏、暮らしを体験し、その体験を通して心の交流が深まるプランで心の交流を～

近江日野の農村生活体験（農泊）と家業おまかせプランは、世代や職業の違う受け入れ家庭の生業、農村のありのままの暮らしを体験し、その体験を通して心の交流が深まることにより、「コミュニケーション能力の向上」が期待できます。

各家庭ではさまざまな体験ツールを用意し組み合わせることから、1軒ずつ内容もスケジュールも異なります。また、食生産現場での体験、受け入れ家庭との共同調理、食育することによる「農作業の大変さ、喜び、食育」の理解の促進とともに、家庭との共同作業、共通体験を通して「達成感や豊かさ」をより深く体感いただくことができます。

農村生活体験（農泊）と家業おまかせプランを通して、生徒たちの「リーダーシップの資質向上」「主体性、協調性」を養うプランは数多くの学校の皆さまにご支持いただいています。

近江日野田舎体験では、体験することが目的なのではなく、体験を通して交流を深め、人としての成長を促すことが最も大切だと考えています。教室の中だけでは学ぶことが難しい「ひとりひとりが考え、行動する力」を養うことができる場をご提案いたします。

三方よし！近江日野田舎体験は今年で、教育旅行の受け入れを始めて9年目となります。安全安心、そして教育効果の高い受け入れに向けて地域一丸となって取り組んでいます。皆さまのお越しをお待ちしております。

共同調理で食文化を学ぶ

茶摘み体験

イノシシと―。命をいただく教育

受け入れ家庭とのお別れでは涙も

中部圏との交通アクセスは大変良好です。

課題解決型の修学旅行ご提案～農村生活体験（農泊）と家業おまかせ

一般社団法人 近江日野交流ネットワーク
（日野町役場商工観光課内）
担当：中森雅之・西河佳子　行政支援：福本修一・大岡正和
〒529-1602 滋賀県蒲生郡日野町河原1-1
TEL 0748-52-6562　FAX 0748-52-8888
E-mail inakataiken@omi-hino.jp
URL http://www.omi-hino.jp/

福井県・若狭美浜

小さな農林漁村・湖村で育む
「強い心と生きぬく強さを」

福井県の若狭美浜は、人口1万人、町の端から端までは車で約30～40分の距離の中に、日本海の中でも豊富な魚種が採れる「若狭湾の漁村」、ラムサール条約にも認定された「名勝三方五湖の湖村」、澄んだ空気、山には木々が生い茂り、清らかな川が流れる豊かな自然の中で営まれる「若狭路の農村」、さらには、町の名の通り日本海に面した美しい浜が続きます。一つの町で漁村文化、湖の文化、農林業の文化を育んできました。

若狭美浜はあとふる体験では、この自然豊かな地域の資源を生かし、漁業体験、農林業体験、アウトドア体験、伝統味覚体験、工芸・歴史文化体験とバリエーションに富んだ体験プログラムを整えています。地域のありのままの暮らしの中、体験者と地元住民との「ほんもの体験交流」を通じ、人と人との触れ合い、人と自然との関わり、生活文化の価値の大切さ、人の温かさを伝えたいと取り組んでいます。

また、京都の「台所」としての役割を担ってきたこの地域は、京都から1時間半から2時間です。北陸の古都金沢からも約1時間半の距離となり、関西圏、北陸圏からも非常にアクセスの良い地域と言えます。

若狭美浜はあとふる体験は、一つの町で取り組んでいます。町民全員で考え方を持ち、行動できる人間へとつなげていける体験プログラムの一部をご紹介します。

漁村民宿1日体験
最大で51軒が対応

若狭美浜の漁村民宿に5人ずつ入り、1日目の昼から翌日の昼まで滞在し、小さな宿の家族の一員として活動します。田舎の漁村文化や、民宿を営む家族の絆、長年多くのお客さまを見てきた女将の生き方、新鮮な魚介類のおいしい食べ方、掃除の極意まで田舎で営む湖を漕ぎ進むボート体験

生きる心を育む漁家民宿1日体験

チームワークを育むボート体験

「日本のおもてなし」を1日の体験から学ぶことができます。

ボート体験

若狭美浜はあとふる体験特有のプログラムがボート体験。チームワークの大切さを肌で感じ、人間関係を構築する能力を育むことができる人気プログラムです。漕ぎ手4人とコックス（舵とり）1人が艇に乗り込み、湖を漕ぎ進みます。

「一艇ありて一人なし」という言葉のように1人が頑張っても速く進まず、全員の呼吸が一つになった時、初めて湖面を滑るように進むことができます。

民泊体験、97軒登録
受入数最大300人

「心の平和教育プログラム」として「田舎の温かさや人とのつながりの大切さ」を伝えています。生徒たちは、初めて出会う新たな家族と緊張の面持ちで対面します。しかし一緒に食事の準備をし、みんなで食卓を囲んで団らんするうちに、互いに歩み寄ろうとすることから交流が生まれます。大人や異年齢の他人との交流の方法を学ぶのです。受け入れ家庭では生徒たちとわが子のように接します。

相手の気持ちを考える民泊体験

若狭美浜はあとふる体験推進協議会
NPO法人 はあとふる美浜ネットワーク
担当：事務局長　林正人（携帯電話090-8967-9471）
〒919-1131 福井県三方郡美浜町木野21－4－1
〈㈱旅工房内〉
TEL 0770-32-2222　FAX 0770-32-6667
URL http://heartful-mihama.com/
E-mail: tabikobo-hayashi@air.ocn.ne.jp

長野県・南信州

人の心温かく、瞳輝く時
感動体験南信州

南信州は中央・南両アルプスの間に天竜川が流れる巨大な谷であります。気候は信州地方では最も温暖であり、そこに住む人々の気質は大変穏やかなことが特徴です。

当地域では、飯田市が1996年から体験教育旅行の受け入れに取り組み、2001年に地元自治体と企業、団体が出資し、ほんもの体験を切り口として誘客を図り、地域の価値を高め、地域振興に寄与する組織として当社が設立されました。

体験プログラムは自然、環境、農業、味覚、伝統工芸、アウトドアスポーツなどさまざまな分野があり、種目数は180種目を数えております。

南信州の体験プログラムが目指してきたこと

私どもはそのコンセプトとして、地域に暮らす人々がインストラクターとして体験プログラムに関わり、生徒たちを生産の現場、生活の中へ受け入れ、これまで培ってきた技術や経験をそのまま体験させることが本物の体験であるとの理念を持って取り組んできました。その理念は事業開始から20年以上が経過した今でも、私どもの事業運営の拠り所として色あせることなく輝きを放っており、協力いただいている地域の人々もそのことに共鳴して継続的に関わっています。このほんもの体験の理念は、アクティブラーニングの視点を持って体験に臨んだ際に、さらに輝きを増すものとなります。

98年に全国に先駆けて受け入れを開始した農家民泊を例に取れば、異なる地域に暮らす人の生活を知り、考え方に触れ、想像していた農業や田舎の暮らしと実際に体験して感じたこととの違いに気付くことが、大きな意味を持って「主体的な学び」や「対話的な学び」につながります。

また、受け入れ農家には単一作目の農家はほとんどおらず、果樹、稲作、野菜の複合経営が大半であり、果樹においてもリンゴ、梨、干し柿など、野菜は葉物、根菜、夏野菜などの少量多品目による営農をしている農家の割合が高いのですが、これは中山間地の地形により、そうせざるを得なかった側面もあります。こうしたことを実際に人に接し、体験や交流を通じて知ることにより、対話的な学びから深い学びへとつながる道筋が見えてくるものと思います。

数多くのほんもの体験を提供

天竜川でのラフティングは国内最大級の1回に300人の実施が可能であり、フォレストアドベンチャー松川、乗馬、渓流釣り、マウンテンバイクなどの本格的なアウトドアスポーツ体験や、プロの職人に教わる陶芸や草木染めといった工芸体験、地域の食文化に触れるそば打ちや五平餅作りなど、民泊以外にも数多くの体験プログラムを行うことができます。

また、「満蒙開拓平和記念館」では語り部講話と展示見学による平和学習も行えます。温泉旅館も数多くありますが、「大平宿」では空民家で囲炉裏と竈を使った昔ながらの生活を体験でき、さまざまな形態での教育旅行の受け入れが可能です。

家族の一員になる民泊、最初の対面

天竜川でのラフティング川下り

大平宿で昔ながらの生活を体験

株式会社南信州観光公社
〒395-0152長野県飯田市育良町1-2-1
りんごの里内
TEL0265-28-1747　FAX0265-28-1748
URL http://www.mstb.jp